

令和6年度

意見交換会報告書

地区	月 日	会 場	参加者	議 員 (先頭が班長)
小松	8月20日(火)	農村環境改善センター	28人	伊藤進、高橋輝行、神村建二、吉村徹、寒河江司、渡部秀一、船山千鶴
大塚	8月20日(火)	大塚地区交流センター	19人	井上晃一、橋本欣一、鈴木幸廣、遠藤明子、鈴木孝之
中郡	8月21日(水)	中郡地区交流センター	9人	伊藤進、高橋輝行、神村建二、吉村徹、寒河江司、渡部秀一、船山千鶴

令和6年度意見交換会まとめ

地区	月日	会 場	参加者	議 員(先頭が班長)						
小松	8月20日	農村環境改善センター	28人	伊藤 進	高橋輝行	神村建二	吉村 徹	寒河江司	渡部秀一	船山千鶴
大塚	8月20日	地区交流センター	19人	井上晃一	橋本欣一	鈴木幸廣	遠藤明子	鈴木孝之		
中郡	8月21日	地区交流センター	9人	伊藤 進	高橋輝行	神村建二	吉村 徹	寒河江司	渡部秀一	船山千鶴

質問、要望、意見	質問等への回答、今後の対応
1、自治会の課題について	
○自治会が無くなった時のデメリットは何か。 町報、回覧はどうなるのか。	●回覧板は回せない。残ってる方には地区センターに必要な書類を取りに行くこととなる。 部落として地区の集まりには一切参加できない。 町報は郵送と聞いている。 ●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 一般的には「地域コミュニティの希薄化」「地域の安全性の低下」「地域コミュニケーションの変化」等がデメリットと考えられます。町報等の町からの情報はインターネットにより入手していただくことができますが、不慣れな方や高齢者などデジタルデバイスを使いこなせない方に対して、地域の情報が伝わらないという恐れがあります。
○ゴミの出し方はどうなるのか。	●ゴミは出さないわけにはいかないので、他自治会に経費を支払いお願いすることとなる。
○無くなった自治会は復活しないのか。	●後継者もおらず、お年寄りばかりで、空き家になっていく。
○アパートの人に自治会に入ってもらうには自治会と町と大家さんと本人で話をしないといけないのではないのか。 また防犯灯の料金や側溝掃除の手間は自治会で払っているが、アパートの人は払っていないのではないのか。	●まちづくり課では、オーナーや不動産との話を通じて解決できるようにしたいとのことである。 全体ではなく個別に対応する。
○災害が起きた場合、自治会に入っていない人に対して本当は人道的に対応しないといけないが何もできない。	●意見として伺った。
○町で考えてもらわないと自治会だけで何とかしろと言われても困る。	●意見として伺った。
○どの地区も課題は一緒であるが、未加入者問題や成り手不足等なぜこのような状態になっているか。 また、加入世帯数の減少推移や未加入世帯数の状況は。	●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 人口減少社会への突入にあわせて少子高齢化が加速していること、現役年齢の高齢化(定年延長等)や核家族化により伝承されないこと等が背景にあると捉えています。 加入世帯数は年々減少しており、令和元年度4,073世帯から令和6年度3,912世帯と▲161世帯(▲3.9%)となっております。また、未加入世帯は令和元年度937世帯から令和6年度1,041世帯と104世帯(11.1%)増加しております。
○県営と町営が混在する館の北団地の側溝掃除などの窓口が不明。	●(持ち帰り回答) 【地域整備課】 当該住宅の附帯施設である側溝については、県と町の共用附帯施設になるため、県営住宅管理人を通じて県営住宅指定管理者の山形県住宅供給公社置賜地域管理事務所、又は町営住宅管理人を通じて町営住宅管理者の川西町地域整備課都市計画グループのどちらかまでご相談くださいますようお願いいたします。

<p>○様々な状況があるが、自治会の在り方についてどう思うか。 ○配布物、寄付金協力金が多く負担となっている。</p>	<p>●住民主体の団体だが、これからは行政側のサポートも必要となる。 ●負担が減るように町へ要望しているが変わらない。自治会長から直接まちづくり課に出向いてほしい。</p>
<p>○自治会に入るメリットをつくるべき。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 「県、置賜地域、町、地区、学校等からの情報が定期的に届く」「防犯防災の面で隣近所の助け合いが深められる」「地域行事やイベントにより、地域内の親睦が深まる」「ごみ集積所を利用することができる」等、人と人のつながりが図られることがメリットとして考えられます。</p>
<p>○自治会長報酬を上げてほしい。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 町からご依頼している業務に対して報酬をお支払いしておりますが、今後依頼する業務内容の精査を行い、報酬額の改定について検討してまいります。</p>
<p>1 ○26戸の自治会でアパート入居者もいる。昨年若い世帯が加入したが、葬式の付合いの件で、自治会を退会申し出があり、今の時代なので、了承をした。今の若い人達と生活リズムが合わないとか、行事が多い等の理由で退会されたが、他の若い世帯からも簡単に退会出来るのかと、加入する必要性が薄れてきている。</p>	<p>●大変難しい問題だが、強制出来ないので、地域の慣例としてお願いし、理解を促す。</p>
<p>○新しい世帯が入って来ると、どのタイミングで自治会加入を言っていかわからない。 (※参加者からの意見) アパート入居者には、情報を知らせる。強制的ではなく、寄り添って気付いてもらえれば、良いと思っている。</p>	<p>●ゴミの出し方の相談時にタイミングをみて言ってみるとよいのでは。</p>
<p>○別荘がある。水、電気の利用上行政とは繋がっているが、自治会とは関係が無い方がいる。ゴミ処分の問題があるので、年会費を負担頂くとゴミを出してもいいと思う。役場で説明をして対応頂けると自治会長の負担が減る。 役場からも自治会に周知があれば良い。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 転入者の情報は個人情報であり、当該自治会長への周知は行っておりません。町へ転入された方に対しては、窓口での転入申請時に住所地の自治会(自治会長さん)を紹介しております。</p>
<p>○独居老人世帯は何件位あるか教えて欲しい。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【住民課】 65歳～889世帯(うち大塚地区91世帯)、75歳～497世帯(うち大塚地区53世帯)</p>
<p>○12軒・役員出来る人は5人しかいない。自分の下の世代は子育て世代で、役をすると負担が大きい事から地元に戻って来ない。自治会の少人数の所は、負担に感じ大変苦勞する。 役職等をまとめるなど工夫出来ないか。また、集金・負担金の納入は土・日等コンビニ支払い出来ないか。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 コンビニ納入を行うためには、負担金等を依頼する団体がそれぞれにシステムを構築する必要があり、実施の有無については各団体の判断によります。</p>
<p>○県外から引越して来た。初めて自治会に加入した。自治会の必要性を説明し理解してもらう必要があると思う。 若い世代は、葬式対応・部落見舞い等馴染めないのではないかと 思う。自治会の意義を丁寧に説明し、理解してもらうのは、役場の努め だと思う。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 転入された方に対しては役場窓口での手続きの際に、「自治会加入のご案内」を配布し、「自治会」「自治会長」「自治会長の連絡先」をお知らせしております。</p>
<p>○各地区の交流センターの役割も大事だと思う。</p>	

<p>○自治会、公民館の一本化、役職などのスリム化が必要。時代環境に合わせて変えていくべき。町報配布物等をスマホで確認できるようにし、スマホの使い方を教えてくれる人がいればよい。また、高齢者の安否確認などにも使える。</p>	<p>●画期的なご提案であり、検討し政策の課題にしていきたい。</p>
<p>○資料と町報の世帯数が違っているが、どちらが正しいか。</p>	<p>●住民基本台帳と自治会からの報告数が異なるため、数字が変わってくる。</p>
<p>○自治会、公民館などの所属戸数が少なく、運営が立ちいかない状態である。良い方法はないか。</p>	<p>●まちづくり課に相談していただき、町が危機感を持ち対応するよう促してほしい。近隣自治会で協議会を設置し連携を図っている地域もある。参考にしてほしい。</p>
<p>○町報付帯の配布物で不要なものもあり、考えてほしい。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【まちづくり課】 各団体からの依頼を受けて、町として必要と判断できるものについて配布をお願いしております。なお、配布にあたっては、自治会長のご負担をおかけしているものと認識しておりますので、配布物としての必要性を含めて、担当各課、関係機関と協議、検討してまいります。</p>
<p>○自治会合併という話もあるが、どうすればうまくスムーズにいか。</p>	<p>●出来るところからやっていってはどうか。自治会長の任期も短いので、そういった部分は行政がサポートすべき。また町でシミュレーションやマニュアルを用意するよう要望する。</p>
<p>2、公立置賜川西診療所の整備について</p>	
<p>○診療所をどういった目的で建て替えるのか明確化すべき。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【健康子育て課】 少子高齢化により、75歳以上人口のピークは令和17年(2035年)、85歳以上のピークは令和22年(2040年)に最高に達する見込みです。後期高齢者は通院が困難などの理由から訪問診療の需要の増加が見込まれます。 このため、本町の公的医療機関である川西診療所は、町民の生命を守る「町民の家庭医」として、初期診療、回復期、慢性期の医療機能を推進します。また、「在宅医療を積極的に担う医療機関」及び「川西町の在宅医療に必要な連携を担う拠点」として位置づけます。</p>
<p>○小児科なども標榜し計画を進めてほしい。子育て支援にもつながる。</p>	<p>●診療科は決定事項ではないので、広く町民から意見をいただきたい。</p>
<p>○診療所は必要。中身の充実、一時介護入院など独自の機能も充実させてはどうか。</p>	<p>●入院施設は難しく訪問の形になると思う。要望として承った。</p>
<p>○診療所に関する町と町民の意見交換会などは今後あるのか。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【健康子育て課】 町ではこれまで医療、福祉関係者及び町民の方々への説明会を開催し、意見交換を図りながら整備基本構想、基本計画の取りまとめを進めています。 今後は、町の素案を取りまとめた時点で町民の方々との意見交換を行い、成案づくりを行っていきます。</p>
<p>○診療所は必要だと思う。中身を検討し、地域住民の負担の少ない形を議員の皆さんが勉強し進めてほしい。</p>	<p>●吟味しながら検討していく。</p>
<p>○このスケジュールでは町民の意見は反映できないのではないかと。漫然とした内容で分かりづらい。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【健康子育て課】 スケジュールの見直しを図り、町民の意見の反映に努めていきます。</p>
<p>○福祉介護課のアンケートも分析をしながら町民が安心して利用できる施設とするべきでないか。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【健康子育て課】 医療、福祉、介護の重層的な支援が可能となる診療所づくりを目指してまいります。</p>
<p>○診療所はかかりつけ医になるか。</p>	<p>●なる。</p>

○規模がわからない。ランニングコスト、医師・看護師の人数がわからないので想像できない。町民として、安心・必要性は理解する。	●常勤医師1名・医師1名・看護師3・事務職と相談員2名体制。有利な財源を探し、建設費用(解体含む)のみ町負担となる。規模は500㎡を目途としている。
○長井病院・南陽病院は早くに建設され、川西診療所は遅かった。高齢化より、地元の小松の方々には有難く安心されると思う。	
○総合病院は2週間で退院させられる。その後の対応として住民・患者の安心を図って欲しい。	●意見として伺った。
○医療機関だけの連携でなく、行政、介護施設との連携機能も必要。在宅、訪問、オンライン診療や、スマホでのデマンド利用なども活用できるようにしてほしい。	●町からはまだ提案段階である。病院企業団であれば医師不足にも対応できる。要望の内容にも対応できるよう提案していく。場所や規模や内容などについても広く意見してほしい。
○介護施設にした方がよいのではないか。	●意見として伺った。
○診療機能は既存医院と話し合いながら成長させてはどうか。	●営利目的でない公的診療機関は必要ではないか。
○置総があるから小国白鷹飯豊などより診療所整備が遅くなっているのではないか。小さくてもいいが、早く明るくきれいになってほしい。	●優先順位の問題ではないかと思う。町民の方の負担は少なくしていきたい。長期的に見て、町のお荷物とならないように検討していきたい。
○健診センターを入れることはできないのか。	●意見として伺った。
3、その他	
○内山沢を含めた平谷地の排水計画を進めてほしい。	●早急に研究し町に要望する。
○町が豪雨での山水対策などを進めていないので、現状の把握と対策を進めてほしい。	●早急に研究し町に要望する。
○小学生の通学路、歩道が草・泥等目立つので、整備して欲しい。	●町当局へ伝える。
○新しくなった大塚小学校のプールが夏休み使用禁止だったが、何故か。誰からも説明がなかった。何故使用する事が出来なかったのか？	●(持ち帰り回答) 【教育文化課】 昨年度と同様、気温の高い日が続くことが予想され、プール使用時及び学校までの移動時において熱中症の恐れがあることから、子どもの安全を最優先とした学校長の判断により夏休み中のプール使用を中止いたしました。 なお、この内容については、5月に開催された学校運営協議会での説明を経て、7月の学校だよりにより地区内への周知を図っております。
○学童保育を補助金を活用して運営している。学童保育は、学校校舎を使うのがベストだが、交流センターの一部をお借りして対応しているが、1日当たり40～50名が利用しており手狭になった。	●意見として伺った。
○今年、夏祭りイベントで地区交流センターの漏水により水が使えない時期があり、プールの水も使用できなかった事も含め学校と地域の連携をもっとやるべきであり残念に思っている。 プール利用禁止の話も令和5年度から決まっており、早い段階から決まっております。地域との連携がなされなかった。	●(持ち帰り回答) 【教育文化課】 プールの使用を含む学校の運営方針については、前年度末までに策定しており、方針の決定にあたっては、地域の代表者からなる学校運営協議会において承認いただいているところです。 令和6年度のプールの使用にあたっては、前年度末に方針を定めているものの、直近の気象予報などを踏まえ、あらためて本年5月の学校運営協議会で説明を行い、ご理解をいただきながら地域との連携に努めております。
○メディカルタウンの公的土地は今後どうするのか？ 災害対応施設、拠点となると思う。医療的な役割に使ってはどうか。	●意見として伺った。 ●(持ち帰り回答) 【政策推進課】 公共エリアの利用については、「川西町メディカルタウン地方創生拠点施設整備基本構想検討

	<p>委員会」を設置し、機能や活用方法について検討を行ってきました。 公共区域の整備にあたっては、町の公共施設のあり方や財政状況を考慮しながら検討してまいります。</p>
<p>○水害時の指定緊急避難場所へ、誕生川や黒川の橋を渡って避難できないのではないかと。</p>	<p>●吉島地区では吉島小の鍵を地区センターに預けて連携を図っている。</p>
<p>○ハザードマップはうまく機能しているのか。また、豪雨災害の反映はなっているのか。</p>	<p>●(持ち帰り回答) 【安全安心課】 大雨による水害が発生した際の避難については、橋を通過できない場合は無理に避難場所へ避難せず、その時点において自身の命を守る行動をとってください。 ハザードマップについては、令和4年8月大雨災害時においておよそハザードマップに沿った浸水であったと評価しております。平時よりご自宅の予想浸水深を確認し、水害発生に備えるとともに取るべき避難行動についてご準備ください。 過去の豪雨災害を受け、国において河道掘削等のハード整備が実施されております。また、浸水を検知するセンサを町内で27か所設置し、情報発信のためのデータとすべく実証実験に取り組んでおります。また雨が止んだ後も浸水が解消されない場所の排水のため、排水ポンプを2台配備しております。</p>
<p>○誕生川の浚渫等整備が県管轄のため実行されていない。早期実現を働きかけてほしい。</p>	<p>●町に要望していく。 ●(持ち帰り回答) 【地域整備課】 誕生川の浚渫については、町の重要事業要望書により県に対し要望しております。</p>
<p>○町の予算が足りず国、県から認可の下りた基盤整備が15年先行されない。大規模農家の方がこの場所から手を引こうとしている。余った農地にかかる町民の負担も大きいとどう考えているか。</p>	<p>●基盤整備費用の10%が町負担となる。町の基盤産業である農業を守るため情報を収集するとともに研究し回答したい。 ●(持ち帰り回答) 【農地林務課】 基盤整備をはじめとする県営農業農村整備事業は、要望を事業管理計画へ反映させた後、5年前後の調査期間と10年前後の工事期間が必要となります。整備完了まで年数を要することから、農家の方には負担をおかけしますが、将来を見据えて若手担い手等の意見も十分反映させた計画で要望頂くことが重要です。また、改良区から町へ要望を受けてもすぐに事業管理計画に反映できる訳ではないことをご理解下さい。</p>